

日本脊椎脊髄病学会 プロジェクト委員会
第3回モニタリングワーキンググループ議事録

プロジェクト委員会理事 高橋和久
プロジェクト委員会委員長 松山幸弘

日時:平成23年10月21日午前7時-8時

会場:前橋ホテル3階「桐」

議事録

1. 脊髄モニタリングハンズオンの反省と問題点

現時点で殆どの施設がセミナーを終了しており、反省点について意見が交わされた。

●各施設担当者から

- ・参加者のレベルや求めているものが分からず、どの程度の内容にすべきか迷った。
- ・日程調整が難しい。
- ・1日ではなく数回に亘るセミナー開催を希望
- ・記録として今回の実施内容をテキストとして取り纏めてCDで残した方がよい。
- ・会員の周知度が低く、締め切り後に問い合わせがあった。

●参加者から

- ・ハンズオンセミナーは少人数で実施された良い企画であり、継続開催を希望する。
- ・テキストを配布してほしい。
- ・認定証を発行してほしい。

2. 次年度の活動について

(1) 今年度はモニタリングワーキンググループ主導でハンズオンセミナーを試験的に実施したが、来年度以降は学会の事業として継続実施を希望する旨、松山委員長から高橋理事に上申し理事会での検討を依頼する。学会事業となれば、実施内容を統一した上で募集を行い、認定証(理事長名)の発行も可能となる。

当ワーキンググループは、来年度から委員会への昇格を希望し、当セミナーを担当したいと考えていることもあわせて説明する。もし昇格が認められない場合は、教育研修委員会に委託するかについても検討を依頼する。

(2) 統一テキストの作成

伊藤全哉委員が作成を担当することとなった。電子媒体での作成を予定。

(3) 募集方法

平成24年度のセミナーは初級者コースと上級者コースを設けて応募を募り、取り纏め及び受講詳細の決定は委員長の指示を得て事務局が担当することとなった。

なお、募集の効果的な公示方法については継続審議する。

また、モニタリングの実際は技師によって行われることも少なくないことから、会員に同行する技師は非会員であっても受講可能とし、これをPRしていくこととなった。

3. その他

次回開催予定は平成24年2月3日金、夜7時から

予定議題:TP症例とレスキュー症例の検討をする。

各人症例のプレゼンテーションをしていただく。

場所は追って連絡する。